

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第3回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会
開 催 日 時	平成27年9月17日（木）午後6時～8時
開 催 場 所	中部地区会館（市役所4階）403集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：池谷光二、水上玲子、安島イツ子、豊泉良、林喜代三 原田美智子、福岡祐子、吉田邦子 欠席者：多和伸晃、竹島栄一 （事務局）協働推進課主査、協働推進課主事
報 告 事 項	1 第2回男女共同参画推進市民委員会の会議録について 2 第二次男女共同参画計画-男女YOU・Iプラン-への、委員会からの意見について
議 題	1 シンポジウムのテーマについて 2 男女共同参画啓発事業について 3 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	<p>1 シンポジウムのテーマについて 「身近なところから男女共同参画を！」に決定した。 講演会、パネルディスカッション、意見交換のいずれも実施できるよう、事務局が講師を選定する。</p> <p>2 男女共同参画啓発事業について (アンケートについて) 男女平等の意識について、学校、職場、家庭のいずれかを選択する欄を記載する。 集計を円滑に行うため、自由記述の設問を減らし、選択式とする。</p> <p>(啓発物品について) 事務局案の付箋に決定した。 名入れする文言は「身近なところから男女共同参画を！」とし、委員会名とイラストを記載する。</p> <p>(当番について) 10月31日（土） 午前：池谷委員、水上委員 午後：林委員、豊泉委員 10月26日（日） 午前：福岡委員、吉田委員 午後：原田委員、安島委員</p> <p>欠席者については事務局から連絡し、決定する。</p> <p>3 その他 第4回委員会は平成27年10月15日（木）午後6時から開催する。</p>

議題1 シンポジウムのテーマについて

- 無料講師を呼ぶことは可能なのか。
- 現時点で確定はできないが、依頼を考えている先はある。
- 「参加から参画へ～男女共同参画社会の構築～」というテーマはどうか。
- 「身近なところから男女共同参画を！」というテーマはどうか。自治会等の地域活動では女性も活発に活動しているが、会長等の役職には男性が就いていることがほとんどである。身近な存在として自治会員の方の参加があれば、シンポジウムでの経験をそれぞれの地域に持ち帰り、意識啓発に繋がるのではないか。
- テーマが大きすぎると難しいので、焦点を絞ってはどうか。
- テーマを絞りすぎると、該当しない人や興味の無い人も多くなってしまわないか。
- 一言で男女共同参画といっても、範囲はとても広い。男女共同参画とは何かを啓発するためには、「身近なところから男女共同参画を！」をテーマにするのは、馴染みやすく良い。
- ◎ 「身近なところから男女共同参画を！」に決定して良いか。

-異議なし-

審議経過

(主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)

(発信者)

- ◎印：委員長
- 印：委員
- 印：事務局

- 女性の社会進出は、ある程度認知されてきたように思う。男性の積極的な参画にも焦点を当てるべきである。
- 女性の活躍が活性化し、社会進出が推進される一方、子どもが家に一人でいる時間が多くなるなど、家庭まで手が及ばないケースも増えている。
- 男女共同参画の成功例や、良い取組の事例について議論するのか、それとも課題や問題点について議論するのか。
- ◎ シンポジウムの流れは、必ずしも講演会、パネルディスカッション、意見交換の順で行わなくても良いのではないか。テーマに沿って参加者同士で議論を交わし、そこにコーディネーターが意見を述べるような形でも良い。
- 委員はそれぞれの団体を代表して委員会に参画している。それぞれの団体における現状や課題について意見交換をするのが良いのではないか。他団体の良い点を参考にする機会になる。
- 職場や自治会などの身近な場面について意見交換するのも良い。
- シンポジウムの方向性としては、それぞれの団体から代表者が集まり、それぞれの団体における課題や取組について意見交換をするということが良いか。

-異議なし-

- 委員以外の一般参加者は募集するのか。
- ◎ 市民に傍聴してもらえば、市民委員会の存在や活動を知ってもらう機会になるのではないか。
- 委員会の活動を知ってもらうことを目的とするのならば、そのためにも話題の提供として講演が必要ではないか。また、来年度以降の活動の種蒔きとして、議論の核となるものを一つ決めた方が良いのではないか。

- 男女に関することだけが男女共同参画ではない。子どもの問題等、幅広く掘り下げて議論すべきである。
- 様々な問題をいきなり解決するのは無理である。現委員の任期は今年度で終わりだが、委員会は来年度以降も続いていく。来年度以降の活動に繋げるために、市民のニーズや現状を事務局が把握する必要もあるだろう。講師やパネリストを呼んでパネルディスカッションをするのも良いが、参加者が市民という同じ立場で現状や課題について議論するのが良いのではないか。
- 参加者をグループ分けする必要があるのか。
- 委員がそれぞれのグループに入るように分けたら良いのではないか。
- 一般参加者を含めてグループ分けするのは難しい。参加者全員で議論するのが良い。
- 講演やパネルディスカッションを実施する場合でも、参加者の意見交換をメインにする場合でも、どちらでも対応できるように事務局で講師の選定を行う。

議題2 男女共同参画啓発事業について

(アンケートについて)

- 「男女の地位は平等になっていると思いますか」という問いの回答は、思う、思わないの二択であるべきではないのか。また、どの場面における状況について回答するのかを明確にする必要がある。
- 学校、職場、家庭等を選択する欄を設け、それぞれの場面において「どのように思うか」とすれば良いのではないか。
- 各設問と回答が誘導的である。ひとつずつ選択する形に変えた方が良い。
- アンケートを実施した後に集計作業があるので、自由記述が多いと集計が大変である。選択式のアンケートにしたら良いのではないか。
- 事務局で新たなアンケート案を作成し、委員に諮るようにする。

(啓発物品について)

- 昨年度は、第二次男女共同参画計画の基本理念を啓発物品に名入れした。
- ◎ せっかくシンポジウムを開催するのだから、シンポジウムのテーマである「身近なところから男女共同参画を！」にしたらどうか。
- 内閣府のキャッチフレーズは、女性を強調しすぎている。「女性がのばす」ではなく、「男女でのばす」などにしたらどうか。
- シンポジウムのテーマを記載するのが、市民委員会らしくて良いのではないか。
- ◎ デザインは、キャッチフレーズ、イラスト、委員会名で良いか。

-異議なし-

(当番について)

10月31日(土)

午前：池谷委員、水上委員

	<p>午後：林委員、豊泉委員 10月26日（日） 午前：福岡委員、吉田委員 午後：原田委員、安島委員</p> <p>欠席者については事務局から連絡し、決定する。</p> <p>その他</p> <p>第4回委員会は、平成27年10月15日（木）午後6時から開催するものとする。詳細については事務局から改めて通知する。</p>
--	---

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div> </p> <p style="text-align: right;">傍聴者： _____ 0 人</p>
-------------------------	---

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： _____ ） <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： _____ ） </p>
--------------------------	--

庶務担当課	協働推進部 協働推進課（内線： 242）
-------	----------------------

（日本工業規格A列4番）